

令和3年11月17日

確定交渉全群教への回答

1, 多忙化解消について

教職員の多忙化解消については、最重要課題の一つであると認識しており、引き続き積極的に取り組んでいきたい。

また、「持ち帰り業務」を含めて、教職員の勤務実態の把握に努め、長時間労働の改善に向けた取組を行うよう、引き続き管理職を指導していきたい。

2, 少人数学級について

少人数学級のさらなる拡大に向けて、国に30人学級の実現を要望していきたい。

3, 特別支援学級の担任の負担軽減について

特別支援学級の担任については、引き続きその負担軽減に向けて取り組んでいきたい。

4, 通級指導にあたる教職員について

通級指導にあたる教職員については、国の基準通りとなるよう確実に改善をすすめたい。

5, 教職員の未配置について

教職員の未配置は、重大な課題と認識している。未配置解消につながるよう、県教育委員会として取組を工夫していきたい。

6, 部活動の位置づけについて

部活動の顧問については職員の意向を十分配慮する。また、顧問を強要することのないよう管理職を指導する。

7, 部活動における負担軽減について

部活動の負担軽減については、職員団体との協議もふまえ、引き続き取り組んでいきたい。

8, 教職員の研修について

指導主事訪問の隔年実施や学習指導案の簡略化など、引き続き教職員の研修の負担軽減について、県教委として取り組んでいきたい。

9, 「全国学力・学習状況調査」について

「全国学力・学習状況調査」の実施にあたり、教職員の負担が明らかになった場合は、対応を検討していきたい。

10, 高等学校の体験入学の申込や入試の出願について

高等学校の体験入学の申込や入試の出願については、webを活用するなど、教職員の負担軽減に向けて改善をすすめていきたい。

11, 「時数確保」について

学校での「時数確保」については、「働き方改革」を十分配慮し、各校の実情に見合った時数とするよう指導していきたい。また、「文科省通知」の通り、不測の事態を過剰に意識して標準時数を大幅に上回る必要はないことを指導していきたい。

12, ICT教育の環境整備について

ICT教育における環境整備の差が教育格差につながることは認識している。県教委としても引き続き環境整備について可能な支援をしていきたい。

13, ICT教育の推進について

ICT教育においては、機器の活用自体が目的化しないよう十分留意していきたい。

14, 母性保護および両性支援について

不妊治療休暇について改善を行いたい。また、仕事と治療を両立できるよう、病気休暇の運用を見直したい。

15, 定年引上げ・再任用の制度について

定年引上げや再任用の制度については、高齢期職員が働きやすい環境となるよう制度設計を進めていきたい。また、職員団体とも十分に意見交換や協議を行っていきたい。

16, 教育委員会からの提案事項について

- (1) 今年度の給与改定については、互いの意見の一致がないまま実施することは残念である。
- (2) 通勤手当及び勤務1時間あたりの給与額については見直しを行う。
- (3) 非常災害時等緊急業務手当については支給要件を緩和する。

以 上